

平成22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400129	事業の開始年月日	平成19年6月1日	
		指定年月日	平成19年6月1日	
法人名	株式会社 ウイズネット			
事業所名	グループホームみんなの家 横浜宮沢3			
所在地	(246-0038) 神奈川県横浜市瀬谷区宮沢4 - 2 8 - 8			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	2 名	
		ユニット数	18 ユニット	
自己評価作成日	平成22年11月12日	評価結果 市町村受理日	平成23年2月17日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1493400087&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「地域の方にホームの事を知ってもらおう」という事で、隔月で『宮沢3ネット通信』を発行しています。また、ご利用者様のやりたい事を個別レクリエーションとして提供し、日々楽しく生活出来るように心がけています。食事前には、口腔体操を行ない口腔機能向上にも力をいれています。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-2-4 ヌケヌマファースト 3階		
訪問調査日	平成22年12月14日	評価機関 評価決定日	平成23年1月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

当ホームは相鉄いずみ野線いずみ野駅から神奈川中央交通バスで7分の平坦な自然の多い地区に在ります。町内の接壤地区に設置されているため、ホームの目の前に在る隣接の住宅地区との交流に努めています。「宮沢3ネット通信」を独自に発行し、グループホームや認知症の説明を記事にして地域住民に配布しています。このような働きかけの結果、納涼まつりでは数名の地域の方が参加して頂きました。管理者は若く、飛び回っており、明快で明るい雰囲気です。利用者がやれることはやって頂く、利用者のためになることはすぐ行動に移すことにしています。利用者職員は明るく、毎日の生活は賑やかです。家族を大切にすることに徹し、5月から2カ月ごとの家族会、イベントへの家族の参加、毎月の一言通信で日々の様子や医師(内科)の往診や歯科検診を報告しており、事業所に相談しやすいとの評価を受けています。連絡ノートには毎日の注意連絡事項や支援内容を「・・・してください」及び医師からの指示などを明確に指示し、職員に徹底しています。非常時の対応として「ホームを不在時の対応について」を作りまとめ、職員が誰でも対応できるようにしています。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家 横浜宮沢3
ユニット名	1U

アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の方向けに、事業所独自の新聞を発行している他、ご利用者様全員が笑顔で過ごせる事業所作りを心がけています	理念は「地域と共存した明るく楽しいホーム創り」を職員の意見を入れながら作りました。年度の事業計画と運営方針、さらに事業所方針を作り運営しています。目標達成計画は、付近との交流、個別レクリエーションについて具体化しています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事の時など、テーブルや椅子を所属の町内会より借りたりしている	事業所は自治会の飛び地で、隣接する住宅街は自治会が異なりますが、「宮沢3ネット通信」を発行し、グループホームや認知症の説明の記事にして近隣に配布しています。納涼祭では3名の方が参加しました。地域の防災訓練にも参加しています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方向けに、事業所独自の新聞を発行している		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所での取組みを報告した上で、町内会長や民生委員の方などからアドバイスを頂き、それを事業所運営に活かしている	行政の了解を得て、みんなの家横浜宮沢の3つのグループホーム合同で年4回開催しています。地域との連携や防災訓練の助言をいただいたり、日常生活、転倒原因、誤嚥等の情報交換も行っています。地域のご近所サロンの紹介もありました。	今後は事業所独自でも会議を開く等工夫をして2カ月に1回の開催の実現と自己評価・外部評価の結果や目標達成計画についての意見交換等を目指されることを期待します。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	横浜市や瀬谷区主催の研修に積極的に参加し、情報交換を行っている	瀬谷区・旭区のブロック会で各種の情報交換が行われています。虐待や感染症の研修、市のグループホーム連絡会での研修もあります。生活保護、介護認定の連携も取れています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>事業所内に「身体拘束廃止委員会」を設置し、身体拘束についての知識を身につけ、身体拘束を行わないケアの取り組みを行っている</p>	<p>身体拘束ゼロを推進し、具体的な行為、方針や原則を細かく明示しています。本人の意思を尊重し、利用者の行動を制限しない、大声を出さない等利用者のペースに合わせることにしています。玄関のドアは開けた職員が最後まで確認しています。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>「身体拘束廃止委員会」の中で、虐待についての勉強を行っている他、ご利用者様の対応方法など、スタッフ間で情報共有をし、虐待の根絶に努めている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、事業所に成年後見人を利用されている方がいるので、今後研修会などを通じて知識を深めていきたい</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時や契約事項の変更時には、ご家族様に対してわかりやすく説明し、同意を頂いている</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会などで、ご家族様から出た意見や要望は、スタッフと話し合い、反映させてより良いケアの実践に努めている</p>	<p>2カ月毎の家族会には多くの家族が参加しています。利用者のやりたいことは、買物・歌・カラオケ等個別レクリエーションとしています。マッサージやシニアセラピーも選択できます。一言通信で、必要なものを家族に連絡することとしました。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議などを通じて、スタッフから出された意見を、事業所運営に反映させて、より良い事業所運営を心がけている	法人の個人面接が全職員と行われていません。良い意見はすぐ行動に移すようにしています。本社への意見具申用のポストもあります。研修案内をファイル化し希望者には参加してもらっています。勤務のシフト化や職員の異動も相談しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフに常に声かけをしてコミュニケーションをとって、一人ひとりが働きやすい職場環境を構築できるよう努力している		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフ一人ひとりのスキルを見極め、必要に応じたアドバイスを行っている 他、法人内外の研修の案内なども掲示している		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣に同一法人のグループホームがあり、情報交換を行っている		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	居室担当を設けて、初期段階での様子観察を強化し、出来るだけ関わっていく		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の調査や、入居時のケアプラン作成を通じて意見交換を行なっている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の調査や、入居時のケアプラン作成時に、ご利用者様やご家族様のニーズを把握し、それらを反映させるよう努力していく		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援を兼ねて、出来る事はやって頂くようにしている		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプラン作成時に、ご家族様の意見を反映させていき、ご利用者様をスタッフと一緒に支えていくように関係を構築している		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様の親戚や昔からの友人などが面会に来られた時には、居室などでお話などをしていただけるようにしている 他、ご家族様の協力を得て、馴染みの場所への外出も適宜行っている	家族や入居前の友達が訪れ、昔話をしたり、外出しています。散歩は近くの馴染みの公園に出かけます。2カ月に1回の訪問理美容 訪問パン屋も来ます。習字や懐かしい歌を歌ったり、テレビの野球で盛り上がる場合もあります。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士がより良い関係を築けるように、スタッフが橋渡しをしている		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年賀状や暑中見舞いなど、季節の挨拶をしている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前の調査や、アセスメントを通じてご利用者様の以降の把握に努めている	入所時の聞き取りのほか・居宅担当が日常の交流で確認しながら把握しています。ただの記録にならないよう言葉や表情をそのまま記録しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の調査や、ご利用者様自身の会話の中より、生活歴などを読み取り、それらをケアプランに反映させるなどの取り組みに努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りなどを通じて、ご利用者様一人ひとりの現状把握に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様本人・ご家族様からの要望を元に、モニタリング・カンファレンスを行ない、必要に応じて往診医や医療連携看護師などからアドバイスをいただいている	アセスメント表にADL情報、個別情報、認知症等から日中の過ごし方や今後の対応をまとめ、医師の判断、看護師による健康管理、家族の評価を入れ、6カ月毎に介護計画表を作成しています。3カ月目にはモニタリングして評価しています。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録や申し送りノートを用いてスタッフ間で情報共有し、適宜介護計画ケアプランの見直しを行っている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	今現在行っていないが、個別ケア実践に向けて取り組んでいきたい		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今後、瀬谷区で行っている地域サロンへ参加していきたい		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診のほか、必要に応じてご家族様との面談も行っている	協力病院の医師がかかりつけ医となり、月2回往診しています。医師の指示で見守りに反映しています。毎日のADLは職員が健康管理表につけ、看護師および往診医に報告しています。毎月の「一言通信」で状況を家族にお知らせしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連絡記録や直接のやり取りによるご利用者様の情報や対応方法の統一を図っている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリーや看護サマリーを用いている		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	書面を作成しながら意見交換をして、対応を協議していく体制を作っている	看取り介護マニュアルで方針を定め、重要事項説明書で「重度化した場合の対応に係る指針」を利用者・家族と話し合い、合意しています。緊急時の入院は協力病院としています。	新人の職員にも自信をつける研修の機会の検討が期待されます。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	「マニュアル」を作成し、常に傍においている		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の職員を招いての防災訓練の実施している。今後、夜間の防災訓練の際には近隣の方への協力を依頼していく	地震や火災発生時の防災訓練が行われています。消防署とも一次緊急避難先を決めています。次回は近隣の協力を得て夜間訓練を行います。スプリンクラーの取り付けも完了し、車いすの利用者は原則1階フロアとし、避難しやすく配慮しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様一人ひとりを尊重し、プライドを傷つけない声かけや対応を行なっている	本人のやりたい事・好きなこと・嫌いな事を把握し、一人ひとりのペースを尊重し自由に生活できるよう配慮しています。個人情報保護方針が定められ、個人情報使用同意書で写真撮影の肖像権はホーム側にゆだねることを承認を得ています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様一人ひとりの好きな事・嫌いな事等を把握するように努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様一人ひとりのペースを尊重し、自由に生活していただけるように心がけている他、要望には迅速に対応するようにしている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1度の訪問理美容にて、整髪や顔剃りなどが出来るようになっている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	四季に応じた食事の提供を心がけている他、定期的に外食行事を企画している	配達される食材を使って、給食部の調理スタッフが調理しています。利用者が食事に興味を抱くよう、メニューが掲示され、毎日楽しみにしています。口腔体操後お手伝いをし食事を楽しんでいます。寿司等の外食もあります。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録し、ご利用者様一人ひとりの状態把握に努め、必要に応じて摂取の機会を多くするなどの対応を行っている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師や歯科衛生士のアドバイスを頂ながら、必要に応じた口腔ケアをおこなっている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用いて、個々の排泄パターンを把握し、必要に応じて、声かけ誘導や介助を行っている	利用者の排泄パターンや行動パターンを把握し、一人ひとりに応じて見守りや声かけ、手引き誘導などの自立に向けた支援を行っています。このような取り組みを通して、利用者が失敗する回数は減ってきています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や歩行練習を行っている他、牛乳やヨーグルトを用いて便秘予防に努めている		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の意思を尊重し、気分のすぐれない時には無理強いほしない。また、入浴剤を用いて気分転換を図っている	原則として少なくとも週2回は入浴していますが、希望すれば毎日でも入浴できます。時間も利用者の意思を尊重し、個別に応じています。1階にはリフト入浴の施設も備えています。入浴時に褥瘡のチェックも行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者のペースに合わせて、不眠の訴えがある時には、傾聴し不安の軽減を図ると同時に、空調の調整や環境整備を行ない、安眠できる環境を作っている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方内容変更時には、服薬管理表に記載する他、スタッフ間で情報を共有し、ご利用者の様子観察に努めている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者一人ひとりの生活の中で出来る事を提供し、楽しみを持って生活していただけるように支援している		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	健康状態を把握しながら、近くの公園まで散歩に行ったり、駐車場での外気浴を行っている	使用者の重度化が進んでいるため、遠出は難しくなっていますが、天気の良い日は駐車場でお茶を飲んだり、外気浴をしたりしています。行事として、タクシーでレストランでの外食も行っています。個別に家族と外出する利用者も多くいます。	四季の自然や地域の人々との触れ合いを通して利用者の五感を刺激するためにも、近くの公園への散歩など、外出の機会を増やす工夫が期待されます。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能なご利用者様には、訪問バン屋さんに来たときに、実際にご自身にお金を払って頂き、社会性の支援に心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて、スタッフが電話をつなげて話をさせていただく事がある		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季に応じた壁面飾りを作成したり、写真やご利用者様の作品などを飾っている	室内でも季節感が感じられるようアジサイ、紅葉、クリスマスなど四季に応じた装飾を心がけています。ソファやテレビ、雑誌などでスタッフの目を気にせずに過ごせるコーナーを設けるなど、利用者が居心地良く過ごせるよう工夫しています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを設置したり、気の合うご利用者様同士が同じテーブルになるように食席の配置も考慮している		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇やテーブル・ソファ等使い慣れた家具を持ち込んで頂いたり、レクリエーションで作成した作品を飾ったりしている	仏壇や写真、趣味の作品など、馴染みのものや好みのものが並べられ、一人ひとりの好みに応じた居室となっています。持ち込みが少ない利用者に対しても、誕生日やクリスマスに趣味や好みに応じた小物などを用意し、支援しています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床はクッションフロアで、段差もなくバリアフリー構造になっている。また、手すりも各箇所があり、車椅子でも対応可能なトイレ・リフト浴がある。また、ご利用者様のA D Lに柔軟に対応する為、車椅子やシルバーカーを常設している		

事業所名	グループホームみんなの家 横浜宮沢3
ユニット名	U2

アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の方向けに、事業所独自の新聞を発行している他、ご利用者様全員が笑顔で過ごせる事業所作りを心がけています		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事の時など、テーブルや椅子を所属の町内会より借りたりしている		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方向けに、事業所独自の新聞を発行している		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所での取組みを報告した上で、町内会長や民生委員の方などからアドバイスを頂き、それを事業所運営に活かしている		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	横浜市や瀬谷区主催の研修に積極的に参加し、情報交換を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所内に「身体拘束廃止委員会」を設置し、身体拘束についての知識を身につけ、身体拘束を行わないケアの取り組みを行っている		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「身体拘束廃止委員会」の中で、虐待についての勉強を行っている他、ご利用者様の対応方法など、スタッフ間で情報共有をし、虐待の根絶に努めている		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在、事業所に成年後見人を利用されている方がいるので、今後研修会などを通じて知識を深めていきたい		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や契約事項の変更時には、ご家族様に対してわかりやすく説明し、同意を頂いている		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会などで、ご家族様から出た意見や要望は、スタッフと話し合い、反映させてより良いケアの実践に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議などを通じて、スタッフから出された意見を、事業所運営に反映させて、より良い事業所運営を心がけている		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフに常に声かけをしてコミュニケーションをとって、一人ひとりが働きやすい職場環境を構築できるよう努力している		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフ一人ひとりのスキルを見極め、必要に応じたアドバイスを行っている 他、法人内外の研修の案内なども掲示している		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣に同一法人のグループホームがあり、情報交換を行っている		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	居室担当を設けて、初期段階での様子観察を強化し、出来るだけ関わっていく		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の調査や、入居時のケアプラン作成を通じて意見交換を行なっている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の調査や、入居時のケアプラン作成時に、ご利用者様やご家族様のニーズを把握し、それらを反映させるよう努力していく		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援を兼ねて、出来る事はやって頂くようにしている		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ケアプラン作成時に、ご家族様の意見を反映させていき、ご利用者様をスタッフと一緒に支えていくように関係を構築している		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様の親戚や昔からの友人などが面会に来られた時には、居室などでお話などをしていただけるようにしている 他、ご家族様の協力を得て、馴染みの場所への外出も適宜行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士がより良い関係を築けるように、スタッフが橋渡しをしている		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	年賀状や暑中見舞いなど、季節の挨拶をしている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居前の調査や、アセスメントを通じてご利用者様の以降の把握に努めている		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の調査や、ご利用者様自身の会話の中より、生活歴などを読み取り、それらをケアプランに反映させるなどの取り組みに努めている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送りなどを通じて、ご利用者様一人ひとりの現状把握に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様本人・ご家族様からの要望を元に、モニタリング・カンファレンスを行ない、必要に応じて往診医や医療連携看護師などからアドバイスをいただいている		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録や申し送りノートを用いてスタッフ間で情報共有し、適宜介護計画ケアプランの見直しを行っている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	今現在行っていないが、個別ケア実践に向けて取り組んでいきたい		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今後、瀬谷区で行っている地域サロンへ参加していきたい		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診のほか、必要に応じてご家族様との面談も行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	連絡記録や直接のやり取りによるご利用者様の情報や対応方法の統一を図っている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	介護サマリーや看護サマリーを用いている		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	書面を作成しながら意見交換をして、対応を協議していく体制を作っている		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	「マニュアル」を作成し、常に傍にしている		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の職員を招いての防災訓練の実施している。今後、夜間の防災訓練の際には近隣の方への協力を依頼していく		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様一人ひとりを尊重し、プライドを傷つけない声かけや対応を行なっている		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様一人ひとりの好きな事・嫌いな事等を把握するように努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様一人ひとりのペースを尊重し、自由に生活していただけるように心がけている他、要望には迅速に対応するようにしている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1度の訪問理美容にて、整髪や顔剃りなどが出来るようになっている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	四季に応じた食事の提供を心がけている他、定期的に外食行事を企画している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録し、ご利用者一人ひとりの状態把握に努め、必要に応じて摂取の機会を多くするなどの対応を行っている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師や歯科衛生士のアドバイスを頂ながら、必要に応じた口腔ケアをおこなっている。また、毎食前には、口腔体操も行っている		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用いて、個々の排泄パターンを把握し、必要に応じて、声かけ誘導や介助を行なっている		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操や歩行練習を行っている他、牛乳やヨーグルトを用いて便秘予防に努めている		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の意思を尊重し、気分のすぐれない時には無理強いほしない。また、入浴剤を用いて気分転換を図っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者のペースに合わせて、不眠の訴えがある時には、傾聴し不安の軽減を図ると同時に、空調の調整や環境整備を行ない、安眠できる環境を作っている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方内容変更時には、服薬管理表に記載する他、スタッフ間で情報を共有し、ご利用者の様子観察に努めている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者一人ひとりの生活の中で出来る事を提供し、楽しみを持って生活していただけるように支援している		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	健康状態を把握しながら、近くの公園まで散歩に行ったり、駐車場での外気浴を行っている		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能なご利用者様には、訪問バン屋さんに来たときに、実際にご自身にお金を払って頂き、社会性の支援に心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて、スタッフが電話をつなげて話をさせていただく事がある		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季に応じた壁面飾りを作成したり、写真やご利用者様の作品などを飾っている		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを設置したり雑誌コーナーを設置し、共用空間でも一人ひとりの居場所が確保出来るよう努めている		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇やテーブル・ソファ等使い慣れた家具を持ち込んで頂いたり、レクリエーションで作成した作品を飾ったりしている		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床はクッションフロアで、段差もなくバリアフリー構造になっている。また、手すりも各箇所があり、車椅子でも対応可能なトイレ・リフト浴がある。また、ご利用者様のA D Lに柔軟に対応する為、車椅子やシルバーカーを常設している		

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 2 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	外出の機会が少ない	外の空気に触れる事により、四季を感じてもらい、また、地域の方々との交流を持ってもらう為に、外出の機会を増やす。	天気の良い日などに、公園へ散歩に行ったり、時々ご家族様の協力を仰ぎながら外出の機会を増やしていく	6ヶ月
2	12	研修の機会が少ない	スタッフへ自己研鑽を兼ねて、法人内外の研修へ参加しスキルアップを図る。また、事業所内でも、定期的に勉強会を行っていく	法人内外の研修案内などを、スタッフの見やすい所に設置し、職員が研修会へ行きやすい環境を作る。(シフト調整等)	6ヶ月
3	3	事業所独自で、地域の方々との話し合いの場が少ない	事業所独自で、地域の方との交流を持てるようにする	現在、区役所からの指導もあり、同じ町内の同一法人のグループホームと合同で運営推進会議を3ヶ月毎に行っているの、法人としての方向性を話し合い、区役所とも協議をしていく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。